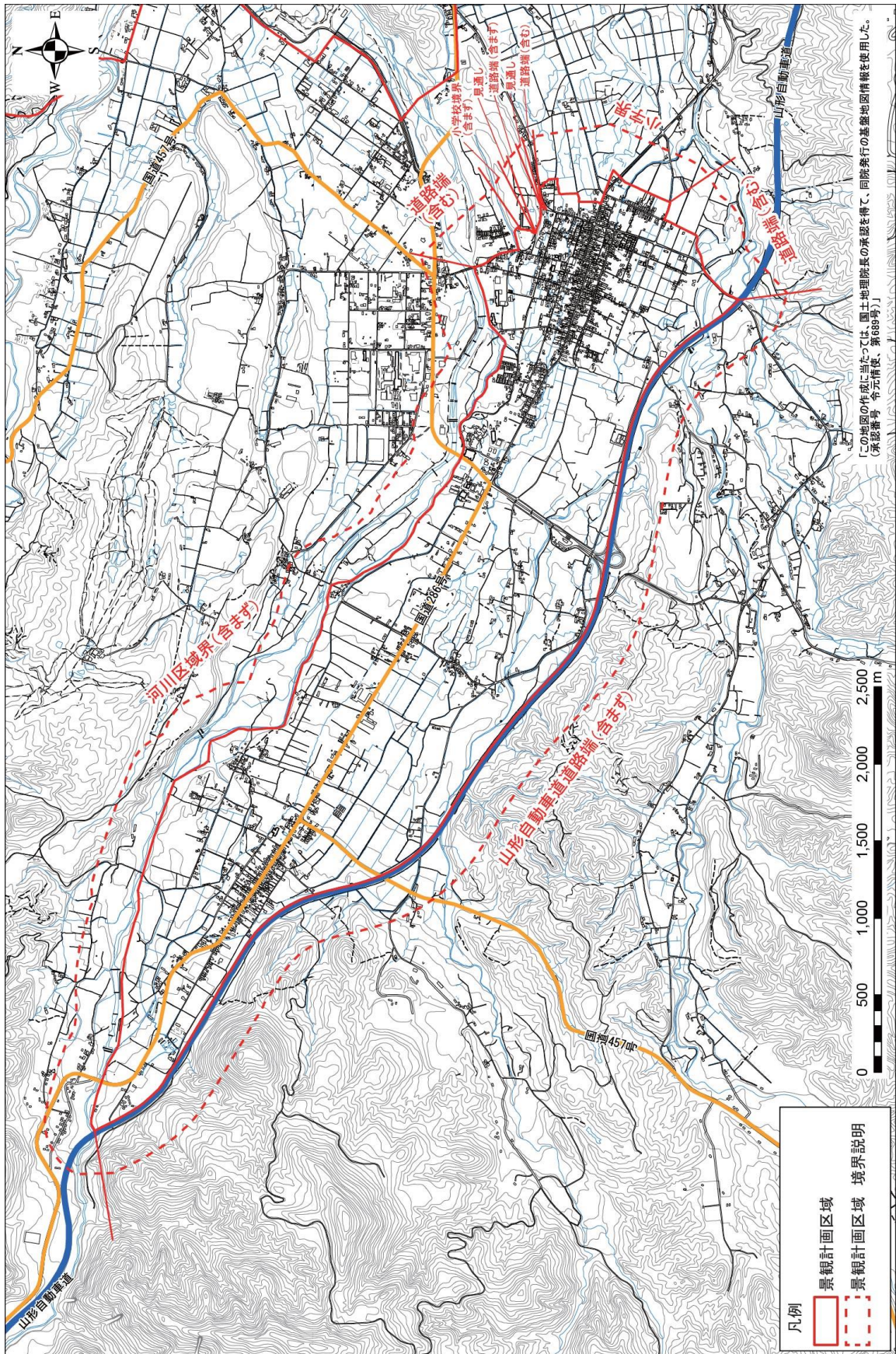


10 川崎町中心部地区

(1) 景観計画区域

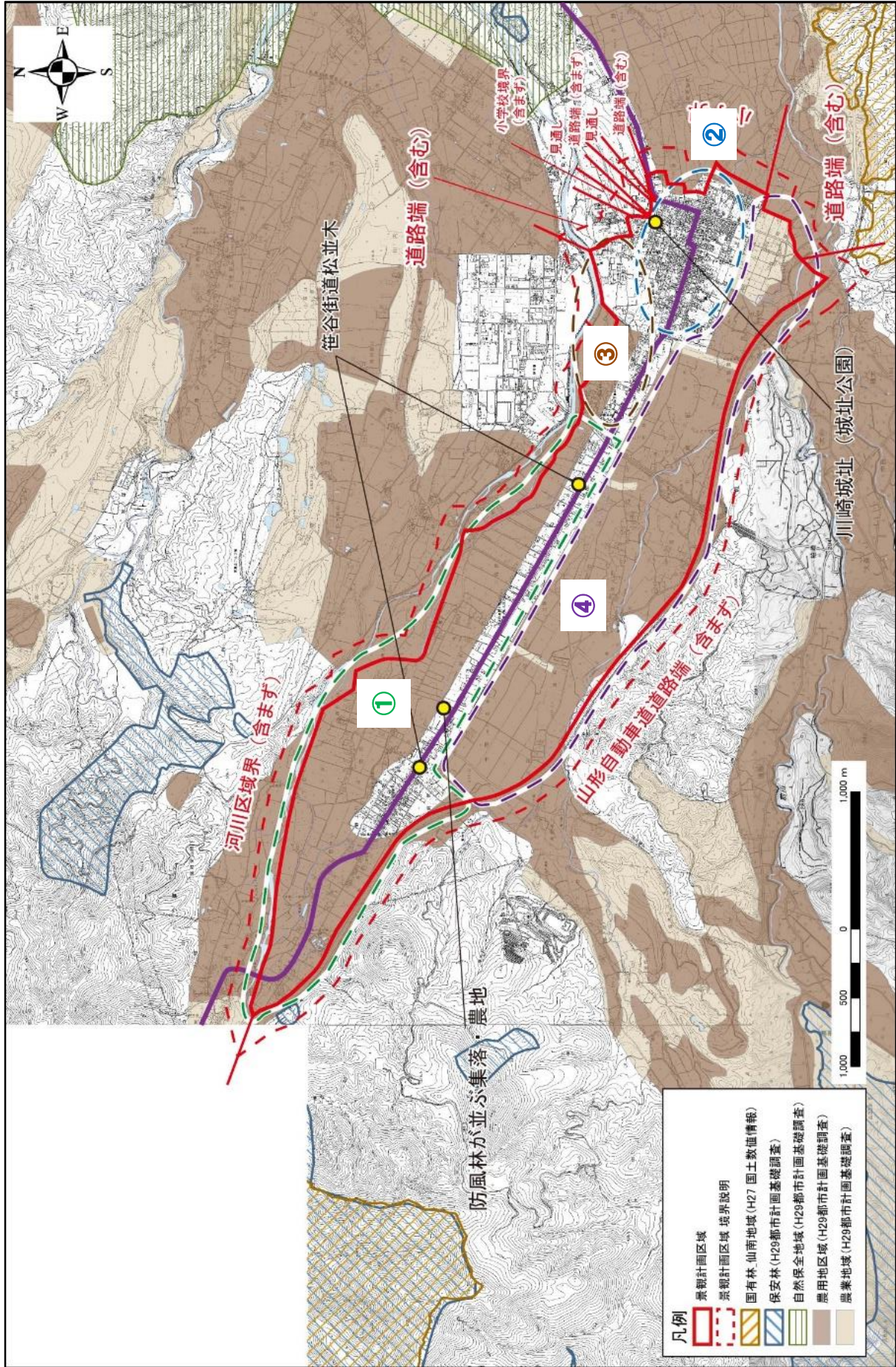
川崎町中心部地区の区域図を以下に示します。



【区域の考え方】

川崎町中心部地区の区域は、以下の考え方を踏まえて設定しました。

当該区域を指定する目的
<ul style="list-style-type: none">かつての川崎城下町として形成された町の中心部と、旧笹谷街道である国道286号沿いに広がる農村景観と街道の名残を今に伝える松並木等が一体となって形成されている川崎町らしさを育む景観について、その特性を継承した、地域の個性を高める景観づくりやまちづくりの取組のきっかけとすることを目的とし、景観計画区域を指定する。
地区内で見られる景観（景観の概況）
<p>■仙南地域らしさを象徴する景観</p> <ul style="list-style-type: none">川崎町の中央を貫くかつての笹谷街道である国道286号には、街道であった歴史を伝える松並木が連続する特徴ある通り景観が形成されている。旧街道沿いに広がる農村集落では、一定の間隔で防風林が立ち並ぶことにより、農地や集落を守っている特徴ある農村景観が形成されている。川崎城址である城山公園からは、落葉樹の葉が落ちた冬には、木々の間から旧城下町や農村集落を一望することができ、蔵王連峰を遠景に望むことができる。 <p>■地区固有の景観</p> <ul style="list-style-type: none">旧川崎城下町に由来する川崎町の中心部の旧街道筋に当たる地区では、商店街が形成され、賑わいの景観が見られ、その周囲には低層住宅を中心とした市街地が広がる。旧川崎城下町の周辺部では、病院、学校、住宅等が立地し、建築物と農地が混在する景観が見られる。笹谷街道南側には、まとまった水田が広がり、穏やかな農業の景観が見られる。
区域設定の考え方
<p>■基本的な考え方</p> <p>かつての笹谷街道である国道286号周辺に広がる防風林が特徴的な沿道の農村集落において、その特徴的な景観の保全と調和を求める。また川崎町の中心部である旧城下町由来の市街地においては、長期総合計画に示された計画的な土地利用推進（住環境の保護を第一に、住・商・工の都市機能がバランスよく集積したコンパクトな中心市街地の形成）と併せて計画的な市街地環境の保全・形成を図りつつ、町の歴史性を活かす景観形成を目指した区域を設定する。</p> <p>■個別の考え方（丸数字は、次ページの図中の丸数字に対応）</p> <p>①松並木や防風林による特徴的な景観を有する農村集落</p> <p>かつての笹谷街道から北側に広がる農村集落は、松並木や防風林による特徴的な農村集落景観の保全と調和を図るため、区域に含めた。</p> <p>②旧川崎城下町に由来する川崎町中心部</p> <p>旧川崎城下町に由来する当時の町割を残す川崎町の中心部は、歴史的な町割や街道筋を活かした通り景観や商店街による賑わい景観の保全・形成を図るため、区域に含めた。</p> <p>③旧川崎城下町周辺の市街地</p> <p>旧川崎城下町と連担して中心部を形成する市街地は、計画的な土地利用推進とともに、景観形成の取組を通じて良好な市街地環境の保全・形成を目指したまちづくりの実現に向け、区域に含めた。</p> <p>④旧笹谷街道南側の水田地帯</p> <p>かつての笹谷街道南側の水田地帯は、山間の平地における農業の営みがつくり出す景観を形成しており、北側の特徴的な景観を有する農村集落や、市街地と一体的な景観のまとまりを形成していることから、これらと一体で区域に含めた。</p>



▲ 区域設定検討図

(2) 景観形成方針

川崎町中心部地区における景観形成方針を以下に示します。

■ 農の営み等とともにある景観の継承

- ・旧街道の歴史を今に伝える松並木の保全を図るとともに、沿道では周囲に広がる田園景観と調和した景観の保全・継承を図る。
- ・農村集落内に分布する防風林の保全・継承を図る。
- ・遠方にそびえる蔵王連峰への眺望と調和した景観形成を図る。

■ 個性を活かす景観の創出

- ・中心部では、地域の景観資源を活かし、住む人、訪れる人が心地よく感じられる市街地景観の形成を図る。
- ・旧城址である城山公園から眺望される、背後に連なる山並みと調和したまとまりある市街地景観の形成を図る。

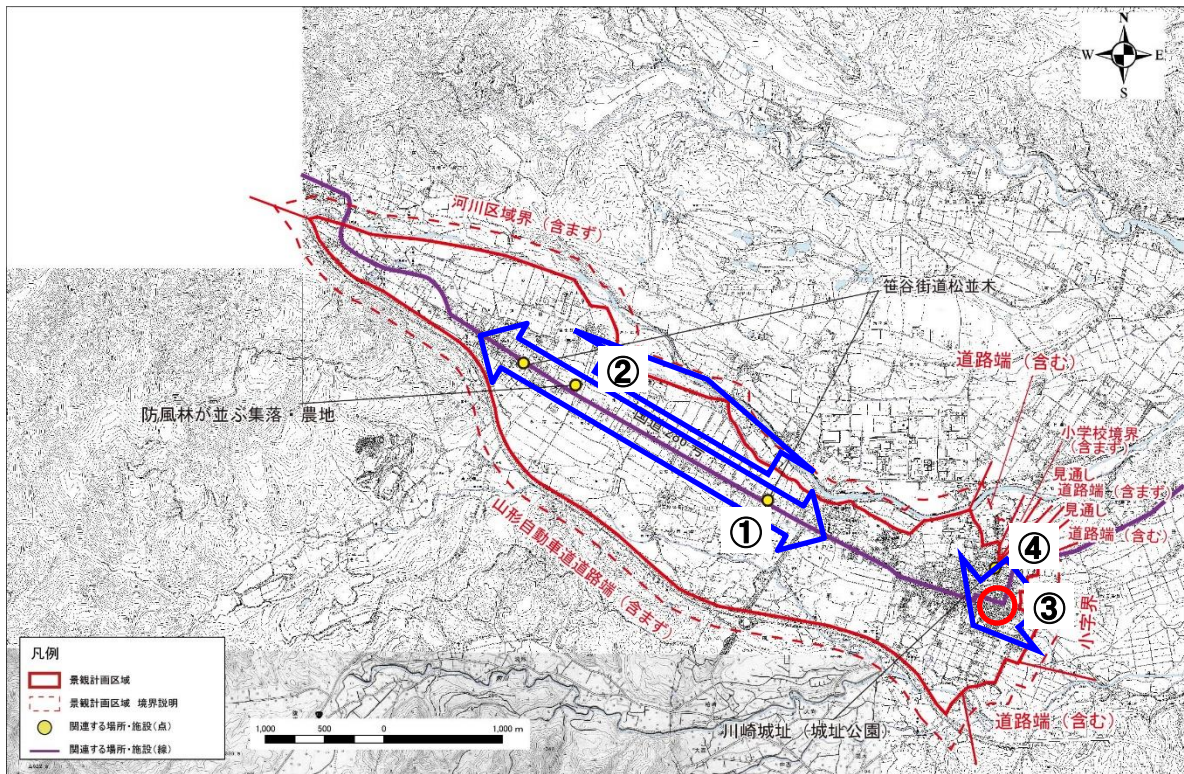
(3) 景観形成基準

川崎町中心部地区における景観形成基準を以下に示します。

▼景観形成基準

行為	項目	景観形成基準 ※■:地域の特徴を踏まえた基準
建築物 ・工作物	配置・ 位置	<input type="checkbox"/> 市街地では、周囲との連続性に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> その他のエリアでは、周囲の環境に配慮したゆとりある配置とする。 <input type="checkbox"/> 大規模な施設となる場合には、オープンスペースを有効に配置し、潤いある景観の形成に努める。
	高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 旧城址等の高台からの眺望や蔵王連峰への眺望に配慮し、周囲の山並みを阻害せず、周囲と調和した高さとする。
	形態 ・意匠	<input checked="" type="checkbox"/> 旧街道沿いでは、松並木がつくる街道景観を阻害せず、周囲の田園景観と調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地では、周囲から突出する奇抜なものは避け、周囲と調和した屋根、外壁等の形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物等では、長大な壁面を避け、周囲に与える圧迫感を軽減に努めた形態・意匠となるよう配慮する。
	色彩 ・素材	<input type="checkbox"/> 地域の景観資源との調和を配慮し、外壁や屋根における素材や色彩に配慮する。 <input type="checkbox"/> 外壁の基調となる色彩は、高彩度の色は避け、色彩を組み合わせる場合には、全体としてのトーンを合わせた統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 屋根の色彩は、建物との調和に配慮し、周囲から突出しないものとする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 屋上設備、屋外設備は、建築物との一体化や道路等の公共空間から見えない位置に配置する。やむを得ない場合には、通りからの見通しに対する遮へい等を行い、周囲の景観に影響を与えないよう配慮する。
	外構 ・緑化 等	<input checked="" type="checkbox"/> 屋敷林等による特徴ある田園景観と調和した植栽となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 駐車場を設ける場合には、出入口を最小限に整理し、道路境界部や敷地内における植樹等、周囲に閑散とした印象とならないよう配慮する。
開発行為・土地の形質の変更・木竹の植栽伐採	周辺への配慮	<input type="checkbox"/> 周囲の自然環境、植生等に配慮する。
	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を活かした造成に努め、切土・盛土は最小限とする。 <input type="checkbox"/> 法面や擁壁等を設ける場合には、周囲の環境との調和に配慮した素材や工法とする。
	既存樹木・樹林等の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の景観を印象づける高木等の既存樹木は、可能な限り保全するよう努める。 <input type="checkbox"/> 植樹をする際は、周囲の自然植生に配慮した樹種の選択に努める。 <input type="checkbox"/> 伐採後は、自然の植生の再生に向けた措置を行うよう努める。

(参考) 区域で見られる景観 (丸数字は、次ページの表中の丸数字に対応)



<p>凡例</p>		<p>地域を象徴する景観が見られるおおよその範囲及び向き</p>
<p>凡例</p>		<p>写真の撮影場所・エリア及び写真の撮影方向</p>

区域で見られる景観	説明
 <p data-bbox="193 577 440 611">①街道沿いの松並木</p>	<p data-bbox="715 241 1038 277">●笹谷街道沿いの松並木</p> <p data-bbox="715 293 1406 472">かつて街道沿いには、風避けや日避け、積雪時の道標となるよう並木が植えられた。旧笹谷街道である国道286号沿いにも松並木が残り、街道筋であったことがわかる。</p>
 <p data-bbox="193 938 517 972">②家屋・農地を守る防風林</p>	<p data-bbox="715 645 991 680">●蔵王おろしと防風林</p> <p data-bbox="715 696 1406 920">蔵王おろしから家屋や農地を守るための防風林が道路に対して垂直に並んでいる様子は、川崎町の気候風土を表す特徴的な景観要素である。傍らに走る国道286号沿いの松並木や合間の農地・水田とあわせ、川崎町独自の特徴的な景観を形成している。</p>
 <p data-bbox="185 1312 657 1346">③町中心部のクランク道路（図内赤丸部分）</p>  <p data-bbox="193 1682 528 1715">④城山公園からの眺望（冬）</p>	<p data-bbox="715 999 1262 1034">●旧川崎城と城下町の名残が見られる町場</p> <p data-bbox="715 1050 1406 1319">旧川崎城は、城山公園として整備され、小高いところから低層の建物が並ぶ町場を望むことができる。また、旧川崎城下町だった川崎町の中心部では、城攻めに備えクランクした道がそのまま道路となっている場所や入り組んだ町割りなどが今に残り、特徴的な町场景観を形成している。</p>

